

千葉県おいしい水の水質目標設定へ



千葉県水道局は 10 月 12 日「おいしい水づくり計画策定懇話会」の 5 回目の会合を開き、同計画の具体的な施策を方向づける局独自の水質目標案について、おおむね了承しました。

今後、この提言提出を受け、施策内容の審議に移る予定です。

水質目標の提言案では、においおよび味、外観、安心の観点から 8 項目を選定、目標値を設定しています。

その中で硬度、遊離炭酸、蒸発残留物については現状で「おいしい水研究会」(昭和 60 年厚生省設置)が示した指標値を十分満足していること、鉛も水質基準値を十分満足し 22 年度までに鉛給水管の更新が完了すること、から目標設定されませんでした。また、今後目標設定すべき項目として、「カルキ臭」の原因とされるトリクロラミンを挙げています。

現状の水質レベルでも残留塩素(平成 17 年度平均値 0.8mg/L)以外、ほぼ目標値をクリアしています。残留塩素の目標値達成には、多くの施策の推進が必要になることから、計画内容に中長期的な達成目標を明示するよう求めています。

項目と目標値は次の通りです。

	項目	目標値
におい および味	残留塩素	0.4mg/L 以下
	臭気強度(TON)	1
	2-メチルイソボルネオール	定量下限値(1ng/L)以下
	ジオスミン	定量下限値(1ng/L)以下
	有機物(TOC)	1.0mg/L 以下
外観	色度	1度以下
	濁度	0.1度以下
安心	総トリハロメタン	0.03mg/L 以下

飲料水、井戸水、地下水分析等、お気軽にお問い合わせください。

資料 2006 年 11 月 2 日付 日本水道新聞

環境分析箇所 重田郁美